事務局ニュース09-NO.2　2009. 7. 24　埼玉県学童保育連絡協議会
〒 330-0854　さいたま市大宮区桜木町４－１００５
TEL048-644-1571　FAX 048-644-1572
http://www.geocities.jp/saitama_gakudou/　　Eメール gakudoust@yahoo.co.jp
【郵便振替】00160-7-93727　埼玉県学童保育連絡協議会

①県補助が、年額5,000～18,000円増額となりました。
市町村へ知らせて、補助（委託料）増を実現させましょう！
②「ほいく誌特別還元金」の申請がスタート！大規模解消のための
助成金、全国研参加費助成金を積極的にご活用下さい。

■　報　告　事　項　(^_^)v [redacted]

１，　埼玉県の動き

（１）補助金交付要綱を通知　年額、5,000～18,000円増額となります

６月19日付けで補助金の交付要綱（※補助金を県から市町村に交付する際のルール）を改訂したものが、県から各市町村へ送付されました。これは、2009年度の国の補助基準額の改訂を県補助に反映させたものです。※要綱その他の書類を１部添付しました。

少子政策課長事務連絡「放課後児童健全育成事業における県補助要項の改正について（通知）」を見ていただくと分かりますが、補助基準額では、250日以上のクラブについては5,000～18,000円増額となっています。また、「長時間開設加算・平日分」、「同・長期休暇分」も、それぞれ3,000円、1,000円ずつ増額となっています。

多くの市町村が、県補助基準額をそのまま、ないしは参考にして市町村の補助・委託料を決めています。この改訂を市町村に伝えて補助・委託料の増額を実現させましょう。

（２）「平成21年度障害児担当指導員研修会」を県・県連協共催で開催

７月14日（火）於行田市商工センター　７月16日（木）於埼玉県県民健康センター

テーマ「障害児と学童保育」　講師＝清水均（就労継続支援Ｂ型「レモンカンパニー」職員）

「障害児対応を行う指導員の研修の機会を確保」する趣旨から、上記日程と会場にて、標記研修会が開催されました。昨年に続いて2回目ですが、昨年度は県単独で開催していたものを、今回は県連協との共催開催となりました。

２，　国の動き

（１）2009年度補正予算に「安心こども基金」1,500億円を計上

２００８年度第２次補正予算「安心子ども基金」1,000億円に追加する形で、２００９年度補正予算にも同基金1,500 億円を計上しました。新待機児童ゼロ作戦等の具体化として実施するもので、学童保育については、「放課後子どもプラン連携促進事業」「子育て支援拠点、放課後児童健全育成事業の指導員の資質向上を図るための支援、人材育成支援」「**賃貸料補助等による**子育て支援拠点、**放課後児童クラブなどの拡大支援**」等をメニューとして挙げています。

県少子政策課は、「このメニューの中で市町村が使えそうなものを検討したい。９月補正予算で予算化することになると思う」（※６月23日、県連協との懇談にて）と話しています。詳しい情報は追ってお知らせします。

（２）全国学童保育連絡協議会　2009年度実態調査結果を発表

全国連協は、５月１日現在の学童保育の実施状況調査結果を発表しました。学童保育数は980か所増の１万8475か所、児童数は80万人を越えたこと、しかし入所児童数は１万4000人増（※2007→08年度は、45万人増）にとどまったことなどが分かりました。入所児童減について全国連協は、71人以上の大規模学童保育への補助金打ち切りの方針を受けて自治体が入所制限をしていることなどが原因ではないかと分析しています。

http://www2s.biglobe.ne.jp/~Gakudou/2009kasyosuu.pdf

３，　県連協のとりくみ

（１）2009年度県連協「学童保育実態調査」第１弾がまとまりました

県連協実態調査第１弾がまとまりました。学童保育数は、前年度比で32カ所増で897クラブで小学校比108.3%（※設置率では全国第２位）、児童数は1,269人増（※2007→08年度は、1,959人増）で45,833人となりました。また、待機児童は1,227人いることが分かりました。※調査結果を１部添付しました。

（２）「大規模学童保育問題についての追跡調査」結果がまとまりました

大規模学童保育に関する市町村への追跡調査がまとまりました。

71人以上のクラブがある43市町のうち、26市町（61%）「分離増設計画がある」と答えていますが、「受け入れ定員を70人とする」と入所抑制で対応する市や「国・県補助はなくなっても71人以上を受け入れ」大規模を放置する町もあります。また、今回、「71人以上のクラブがない市町村」にその理由をうかがいましたが、「分割を進めため」という優良市町もある一方で、「元もと定員を定めている」と待機児童を出している市町もありました。地域のとりくみに役立ててください。※調査結果を１部添付しました。

（３）政党との意見交換会を行いました

１．公明党県会県議団との意見交換会　６月11日（木）

県議５名が出席。県連協からは、県庁への対しての主な要望内容を説明しました。

２．民主党埼玉県総支部連合会との意見交換会　７月18日（土）
　国会議員7名、県議会議員１名等約15人が出席。主に国政に対しての要望内容を説明しました。

（４）「所沢おおぞら特別支援学校に障害児学保をつくる会」の動き始まる
　今年４月、高校統廃合に伴い、「上尾かしの木特別支援学校」を開校し、開校と同時に、学内に障害児学童保育バナナキッズが移転・開所することができました。県内発の快挙でした。
　続いて来年４月、同様に高校統廃合に伴い、「所沢おおぞら特別支援学校」が開校されます。県連協と障害児学童保育ブロックでは、同校に転校ないし入学する児童生徒を対象とした障害児学童保育を学内につくることを目標にとりくみを開始しました。
　７月11日（土）には、所沢市内にて「同つくる会準備会議」を開催、17日には新校開設準備室との懇談を行いました。

■　県連協からお知らせ・お願い　(^0^)　■

１．「ほいく誌特別還元金」の申請が始まりました。大規模解消のための助成金（８月末申請〆切）、全国研参加費助成金を積極的に活用して下さい
　総会で実施を確認していた「『日本の学童ほいく』誌特別還元金」について、７月18日の代表委員会において詳細な活用方法を決めました。
　①大規模学童保育を分割するための設備・備品、人件費などへの助成金（渡しきり）、②全国研・滋賀集会参加費助成金（渡しきり）、③施設整備費貸付金の３つのメニューがあります。当面、大規模分割設備・備品等助成金は８月末まで受け付けます。①は、大規模分割の設備・備品だけでなく大規模解消の運動のためのチラシや署名等の印刷費、指導員配置の人件費補助などにも活用できます。是非、積極的にご活用下さい。別添「手引き」を全クラブ用に添付しました。「こういうケースは対象になるのか」等分からないことは、県連協事務局までお問い合わせ下さい。

２．９月の合宿研究会（９月12～13日）へ多数の保護者の方がご参加下さい
　テーマは、「学童保育の保育と指導員のことをみんな（保護者・指導員）で考えよう」。１日目は全体会、２日目は４つのテーマで分科会を予定しています。第2弾チラシを追ってお送りします。

３．全国研・滋賀集会（10月24～25日）へすべての学童保育から複数の参加をご予定下さい。今回は県連協から参加費助成金が出ますよ！(^^)!

４．書籍・資料普及のお願い
（１）河野伸枝さん（飯能市指導員）が『わたしは学童保育指導員』（高文研）を出版
　飯能市の指導員・河野伸枝さんが実践記録を出版しました。子どもの心の揺れに寄り添い親を支え励ます河野実践を是非、お読み下さい。Ｂ６判２３２㌻で1,５００円。消費税サービスです。

（２）『埼玉の学童ほいく～2009年度資料集』500円をご活用下さい
　埼玉県の施設整備の新要綱、県連協が行った詳細な学童保育実態調査結果、運動に関わっての県連協としての様々な見解など、地域で役立つ内容が満載です。クラブに１冊、常備下さい。